

公共施設使用料の見直し（案）に対するパブリックコメント実施結果

実施期間：4月27日（月）から5月29日（金）まで
意見提出件数：22件

【公共施設使用料の見直し（案）に対する意見（要約）】

ご意見	魚津市の見解等
施設の維持には受益者の負担が不可欠。見直し案に賛成します。	今回の公共施設使用料の見直しは、維持管理費の増加による受益者負担の引き上げを原則としています。この方針につきましては、一定程度ご理解をいただいたものと思いますが、今後も社会情勢の変化に合わせた、受益者負担と公費負担の適正なバランスを検討してまいります。
提案とおりで可です。	
他の施設からみると安いので、いくらか上げてほしいと思います。	
使用料改定するのは、しかたがないと思う。	
電気代等の高騰により維持管理費が増加する中において、使用料の見直しを進めることは、受益者負担の原則から妥当なことだと思います。出来るだけ収入を増やしていけるよう、利用者の増加に向けた取組や仕かけを考えていくことが大事だと思います。	
公共施設使用特の値上げについては、賛成です。 ただ、コミセンの使用料についてはまだまだ安いと感じます。魚津市 250 円、高岡・射水市が 300～350 円なので、魚津市も今後 300 円程度まで値上げしても良いのではないかと思います。	
頂戴して資料を拝見し、他県の施設などの料金と比較し、今回の改定案は金額的には妥当、もう少し値上げも大丈夫だと考えます。魚津市民と観光客との価格に差を付ける施設も歓迎します。ご提示して頂いた見直しは進めて下さい。	今回の公共施設使用料の見直しの主旨について、市民の皆様や利用者にご理解いただけるよう、分かりやすい周知の仕方を検討してまいります。
施設が健全に運用出来るよう、受益者負担と公共性のバランスがよい見直しをお願いします。概ね賛成です。 魚津市民とそれ以外で負担率を変えるなど、今後ご検討をお願いします。	
今後の価格設定に柔軟性を持たせるために、名称を「基本料金」と「サービス料金」の二重表示とし利用者に提示されてみてはいかがでしょうか。どんな施設でも維持管理費（人件費・燃料費・設備更新費など）が発生するもの。遠慮は無用、但し利用減少が著しい施設に関しては「今後廃止の検討対象になる」と記載明記する。	
年間経費比較や他自治体施設との比較に基づく、料金改定ですが、利用者数の目標も設定する（なかなか難しいかもしれませんが…）などして、ご検討いただけたら、市民も納得しやすいのではないかと思います。	値上げをしても多くの方にご利用いただけるよう、施設の長寿命化や利便性の向上に努めることが大切だと認識しております。利用者により満足いただける施設を目指し、計画的な改善に取り組んでまいります。
使用料の見直しで値上げをする背景と現場での工夫を紹介した上で利用者や住民に説明、案内をすれば同意も得えやすく、すぐに実行出来ると思いました。	
公共料金の増額は、賛成です。昨今の社会情勢から、物価・人件費等が上昇しているので仕方がないと思います。 ただ、公共施設を利用する立場からすれば、使用料を支払った額に見合う施設にして欲しいです。 どの施設においても安く利用できればいいのですが、利用料に見合った施設、良い状態を維持するために費用が掛かるのであれば、受益者負担の比率を上げて、現状の価格より上げてほしいと思います。 今回示された価格は現状維持の価格設定だと思います。また近隣市町との価格比較もされていますが、魚津市が独自に考えた価格設定を考えていただき、より良い、質の高い施設運営・管理をお願いします。	

ご 意 見	魚津市の見解等
コミュニティセンターは、県内では無料の公民館もあり、改定については慎重に検討して欲しい。地域振興会や社会福祉活動・町内会などは減免になっているが、その他のサークル活動は登録制になっています。高齢者の利用が多いので、改定率が高いのではないか。指定管理になれば、振興会で、施設使用料を変更する事は、出来るのでしょうか。	魚津市では、社会教育活動以外にも幅広く地域活動が行えるよう令和２年４月から順次各地区の公民館をコミュニティセンターとしました。 また、指定管理者制度の導入も見据えた使用料の見直しにより施設を有料化する一方で、地域活動に支障が出ないよう減免措置を設けています。 ご指摘のとおり、地域振興会が指定管理者となれば、条例の規定を上限として、市との協議により使用料を決めることが出来ます。しかしながら、使用料を定額に設定すると、管理者側の収入が減少し、利用者の増加などの工夫が求められることとなります。 市としましては、今回の使用料見直しが、地域での生涯学習活動の委縮に繋がる事の無いよう、検討してまいります。
各施設で過剰な空調や照明が使われてはいませんか。 また、清掃業務などの管理委託業務にムダはありませんでしょうか。 今一度ご確認をお願いいたします。	利用者に負担を求めるだけでなく、支出を減らす努力も併せて必要であると認識しております。ご指摘のとおり、施設の維持管理費の削減や事務の効率化について、検討してまいります。
スポーツ施設の使用料改定について、市内中学校の部活動は地域展開を行っており、元々中学校で行っていた時は無料だった。現在は施設使用料の負担があり、クラブ活動については、配慮してもらいたい。	中学校の部活動の地域展開として実施されている地域クラブによる市内スポーツ施設の利用につきましては、現在、一部を除き全額免除としております。また、５割負担となる施設の利用においても、利用料金に対し公費で補助を行うことにより、実質的な負担が無いよう配慮しております。
桃山屋内グラウンドが、現在も照明代込みで随分高額です。シニア割等、検討願います。 野球場が安いのは、ビックリです。何かあるんでしょうね。	施設の照明設備利用料につきましては、日頃の点検や保守、電気代、将来的な修繕・更新費用といった維持管理コストを基準に積算・設定を行っております。 近年、エネルギー価格の高騰に伴う電気料金の上昇や、安全な利用環境を維持するための設備メンテナンス費用の増加など、施設を適切な状態で維持管理するためのコストが大幅に増加しており、やむを得ず増加した維持管理費用を反映した料金設定とさせていただきます。 施設を適切に維持し、安定的な運営を継続するための措置ですので、何卒ご理解をお願いします。
桃山屋内運動場の照明料金が他の市町村より高いので、下げていただきたい。 同じく照明の明るさを 50 パーセントと言う設定を新しく設けて欲しい。	
桃山運動公園屋内グラウンドの料金見直しについて、テニスコート 1 面分 800 円/h→900 円/h の案となっているが、値上げだけでなく引き下げも検討されたい。特に屋内グラウンドの照明代金 800 円/h については、県内最高レベルにあるはずです。この照明代金の引き下げを実施してもらいたい。 例えば、6 人で 3 時間テニス楽しんだとすると、照明無しなら 800×3 時間÷6 人＝400 円、照明を点けると一気に一人 800 円！冬季の貴重な運動機会を提供してもらっていることは重々承知していますが、照明を点けると一気に倍というのは？ もし、コートが＋100 円なら、照明△100 円以上、仮に、コートが＋200 円なら、照明△200 円以上を検討願います。	
魚津水族館は少し安いと思う。せめて一般 1,300 円にすればいいと思う。建て直しも含めて将来的なビジョンを構築すべきだと思う。	
魚津水族館について、ペンギンとアザラシが入館しなくても（＝入館料を払わなくても）観られるのは直ちにやめたほうがよろしいかと存じます。特に小さい子どもはペンギンとアザラシだけで満足してしまいがちで、入館（当然保護者が同伴するので入館料が発生する）に至らず収益に結び付いていません。エサ代だけでも、水族館内で最も飼育コストがかかっているはずですが。ただの「客寄せ」にしてはコストがかかりすぎです。	
魚津水族館は、南砺市に拠点を構えるアニメーション制作会社「P. A. W o r k s」制作の「白い砂のアクアトープ」で技術監修に携わられたことがあるはずです。 作品中の「がまがま水族館」のコンセプトは明らかに魚津水族館のそれであり、放送期間中には関連の展示がありました。 製作委員会とのライセンス等の事情はあるでしょうが、恒久的に展示できるものがあれば、もっと出していけば集客できるかと存じます。	

ご 意 見	魚津市の見解等
財政運営の透明性と説明責任を求める 一、まず自らの無駄を削れ。中学生でも納得できる説明責任を果たせ！ 行政は「財政が厳しい」「赤字だ」と言い訳ばかりして市民へ負担増を強いていますが、その優先順位が根本から間違っとなるが ん！令和８年度予算を見れば、DX 推進調査事業に 150 万円、クリスタルガーデン再整備に 5,500 万円、富山労災病院関連には３億円もの巨額が計上されています。公共施設使用料を値上げする前に、これらの支出の必要性和優先順位を、中学生でも納得できる誠実な言葉で市民に文書で説明する責任があります。自らの無駄を棚に上げて市民に負担を転嫁する姿勢は断固拒否します。 二、施設は街の「血管」である。値上げは住民の命と生活を絞ることだ！ 公共施設は数字上の「コスト」ではありません。この街に生きる人間に絶対必要な「血管」です。車に乗れない高齢者の通院の足、子どもたちの通学、地域の集いの場を安易な値上げで遠ざけることは、住民の生きる権利・学ぶ権利を人質にする行為と同義です。ハコモノ整備にお金を使う余裕があるなら、今生きている住民の生活を最優先に護ってください。 三、米騒動の地の母として、子どもたちへの無責任な借金丸投げを断固拒否する！ 大正時代、この魚津の地から「家族に米を食べさせたい」と命がけで立ち上がったおんなたちの米騒動の精神が、今も私たちの血に流れています。財政悪化の責任を値上げで市民に押し付け、次世代に借金を丸投げする行政運営を断固拒否します。市民は次の選挙で厳しく判断します。子どもたちの未来のために、真の説明責任と誠実な財政運営を強く要求します。	ご意見にあります「自らの無駄を削り、説明責任を果たすべき」「市民の生活や次世代への配慮を最優先にすべき」というご意見は、市の運営において深く肝に銘じなければならない重要な事項だと認識しています。将来にわたり持続可能な行財政運営を心がけ、市民の皆様の納得と安心を得られるよう、分かりやすい言葉による説明に努めてまいります。